

中古PCに 最新Linuxを導入 まず概要

まずは今回も、Linux初心者の方を 想定して
話を進めます。

2025年 10月 14日だったかな。？
Microsoft社が Windows10のサポート打ち切り
を 宣言しました。 これからは Windows11を使
用して下さい。 という事で 無償アップデートを
やっておられましたが、**使用するパソコンの**
ハード環境が ある条件以上を満たしていない
アップデート出来ないようです。

私がメインで使用しているパソコンも アップ
デート出来ないという事で、新しいハードウェア
を用意して下さい。とのメッセージが 出ました。

もちろん今までのパソコンが 全く使えなくな
るという事ではなく、インターネットに接続して
いると、新たなコンピュータウィルスや サイ

バー攻撃に対応できない。 という事です。

よって、基本的に スタンドアロンというか ネット
に接続しないで使用する分には 問題ありません。 Excelに データ入力するとか、ワープロで
文章を作る場合は 基本的に ネット接続は必要
無いでしょう。 私みたいに 組み込みマイコンの
プログラムを作成したり、パソコンのアプリを 作
成する場合も 通常ネット接続は 必要ありません。 あと、YouTuber特有の 静止画、音声、動
画の編集を行う場合も その時ネットに接続する
必要はありません。 必要なときは、完成した動
画ファイルを YouTubeに 投稿する時です。

でも、分からぬ事をネットで調べるとか、アマ
ゾン等で 通販を利用するとか、娯楽で ネット
サーフィンする時もありますよね。 それを考
えると やはり ネット接続は 必需品です。

今回は、Linuxの isoファイルを ダウンロードしましたしね。 3Gbyteちょいのファイルを 2本ダウンロードして DVDに書き込みました。

正直いって、まだLinuxの セキュリティに関するやり方については理解していません。 これから勉強しながら皆様にも説明していこうと思います。

それと、初めて Linuxを扱う方にとっては、一応、通常は GUIの見た目で使用できますが環境設定等で、コマンドプロンプト Windowsでいうところの 黒いDOS窓というか、コマンドを打ち込む窓を 使うことが多いです。

私は 遥か昔 MS-DOSを使っていたので あまり違和感はありませんが、若い方には ちょっと 苦痛かもしれませんね。

でもソース等を 打ち込むテキストエディタは、GUIの エディタが 標準で入ってます。 Windowsと ほぼ同じ感覚で入力出来ます。

GCCで コンパイルする場合は コマンドプロンプトで、コンパイラのパラメータでソースファイル名、その他 パラメータを 打ち込む事になります。

まだ、確認はしていませんが Arduino IDEとか最近の ルネサスの開発環境も Javaにより Linuxで 動かせるようになっているのではと思います。 組み込み環境は 少しずつ Linuxでも動かせるようになって来ているようで それはありがたい事です。

あと余裕があれば、ラザロを使って Linuxの GUI環境で アプリを作ってみたい気もします。 因みに ラザロは Delphiに 似た開発環境です。

今回 インストールする Linuxは ？

私が、過去にインストールして 調子の良かつた Linux は [ubuntu](#)です。 それとその ライト版である [Lubuntu](#) です。 お勧めです。

[Lubuntu](#)においては AVRマイコンの GCCコンパイラを インストールして コンパイル そして、[Linux](#)上でターゲットマイコンに プログラムを 書き込みました。

実は過去に 百円の AVRマイコン [AT90S2313](#) に プログラムが書き込めなくて 悩んでいた時期がありました。 Uさんから [Linux](#)で使用する AVRマイコンの書き込み器を頂き、無事プログラムを 書き込む事が出来た。 という事がありました。 で [AT90S2313](#)は、メモリが 2Kbyte しか無くて [Arduino](#)環境では 使えない。 そして メーカーの最新の開発環境では サポートを 終了しており、[2313](#)用のプログラムが 作れな

い状況でした。

しかし、[AT90S2313](#)に対応した 2つの開発環境がありました。 1つは Windows環境ですが [BASCOM AVR](#)という AVRマイコン用の BASICコンパイラです。 結構 使い勝手は良かつたです。 但し 書き込み器が Linux環境なので、USBメモリで HEXファイルを 持って行く必要がありました。 で、[AVRマイコン用の GCCを Linux](#)環境にインストールしたら、[Linux](#)環境で AVRマイコンの開発が 一通り出来る事になります。 結果として [GCC](#)も [AT90S2313](#)に 対応していい、OKでした。 あと、GCCが使えるという事はアセンブラーも使える事を意味します。

という事で、ノートPC上の [Lubuntu 32bit版](#)でしたが、少なくとも AVRマイコンの開発に使えました。 という事です。

話の順番が 前後しますが、Ubuntuという言葉は アフリカの単語で「他者への思いやり」や「皆がっての私」といった意味を 持ちます。Linuxディストリビューションである Ubuntu は Ubuntuの精神を ソフトウェアの世界に 届けます。

とあります。

アフリカの企業で、Ubuntuは 運営されていますが、別の事業で 十分な収益が あるようで、その収益の一部を Ubuntu の 開発に 割り当てているようです。

一つ 話をするのを 忘れてましたが、ubuntu に限った話ではないですが 32bit版と 64bit版 の 2つが あります。 これは、インストールするハードウェアと関わってきます。

デスクトップタイプの中古PCの場合は、XPから Vistaの時代ぐらいの物であれば、64bitも大体インストール出来ると思います。

64bitが インストールできるPCでは、32bit版も 一応インストール出来ます。 64bit版と比べると パフォーマンスが 多少落ちるようです。

問題は、ノートPCです。 XPからVistaの時代ぐらいの物は、32bit専用機の場合があります。 これは、ノートPCのバッテリー駆動を考慮して出来るだけ消費電力を抑えるため、32bit専用機に なっているのではと思われます。

私も 誤って 32bit専用機に 64bit版 ubuntuを インストールしようとして 最初の読み込みで 途中までは動きますが 画面表示が壊れたようになり、ハングします。 よって 32bitのノートPCには 32bit版のLinuxを インストールして下さい。 という事になります。

そのせいか、32bit版の [Lubuntu](#)を 探しておられる方を ネット上で 何人か見つけました。で、現時点では [Lubuntu 32bit版の ダウンロードを行っている所を 私は 見ていません。](#)もしかしたら どこかにあるのかも 知れませんが 私は知りません。私は [Lubuntuの 32bit版を 2019年 5月 2日にダウンロードしているので その当時までは](#)あったのでしょうか。

よって、[ubuntu](#)または [Lubuntu](#)を インストールする場合は [64bit OSが動く デスクトップ型のパソコンを 用意して下さい。](#)

インストールに使用する パソコンは ？

既に 左側に 答えの一部を書いてますが、[64bit OSが動く デスクトップ型のパソコンを 用意して下さい。](#)

それと、私は [isoファイル](#)をダウンロードして DVD-Rに書き込んで インストールディスクとして 読みませますので、[CD-ROMドライブユニット](#)が 付いたパソコンを 用意して下さい。

CPUクロックは、3GHz、Core 2 Duo
メモリは 2Gbyteあれば 個人用PCとしては十分と思います。あと Linuxでは やった事ないですが、画像処理とか グラフィックを多用するアプリを使用する場合は グラフィックボードが あった方が いいかもしれません。

次ページから、私のインストールに使用するパソコンを お見せします。

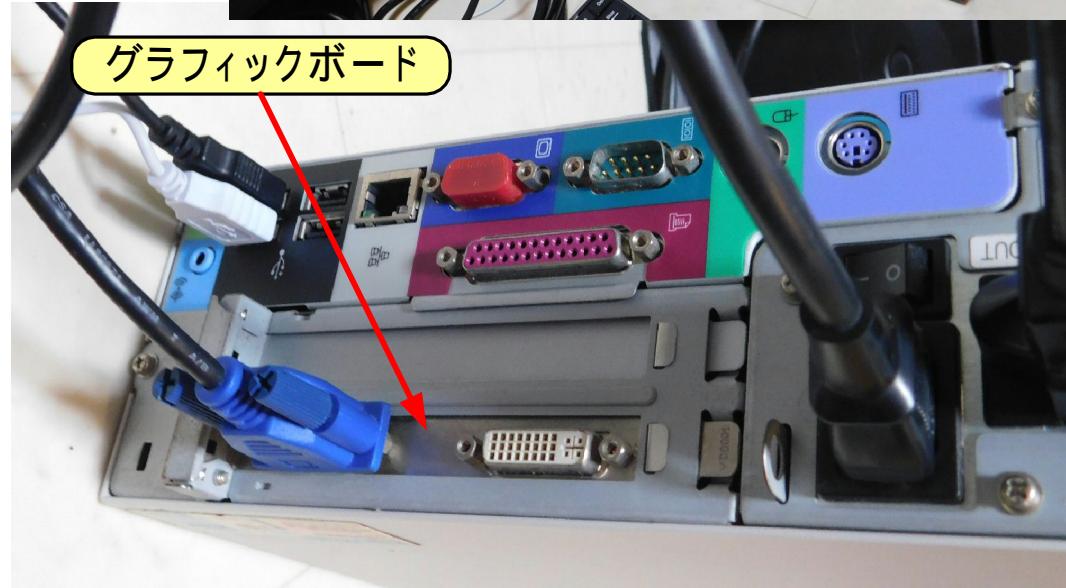
私の ubuntu インストール用 パソコン

今回使用するパソコンは 右上の F社の 小型デスクトップPCです。背面を見ると グラフィックボードが 入ってました。中古PCに 最初から入っているのは珍しいですね。

CPUは [Core 2 Duo 3GHz x2](#) です。
メモリは [2048Mbyte](#)です。

HDDは 一度交換していて、何と [1Tbyte](#)でした。先頭の方に [WindowsXP](#)が 入っており、後方にまだ たっぷりの 空きエリアが あります。

既にインストールされているOSの後に 種類の異なる OSを 追加インストールする場合 [MBR](#)や [パーティション](#)の事を [多少理解してない](#)と難しいので、ちょっとその説明を 先にします。



MBRと パーティション

MBR マスター ブート レコード

概要:

MBRとは、ハードディスクなどのストレージ(二次記憶装置あるいは補助記憶装置)の先頭部分にある起動に必要なプログラムや情報を記録した小さな領域です。

コンピュータ起動時に最初に読み込まれます。尚、2テラバイトまでのHDD等で使用されており、4テラバイト以上のHDDは、MBRとは異なる管理方式が使用されているようです。

ハードディスク等の記録デバイスは主記憶メモリとは異なりバイト単位では、読み書き出来ません。最低限の容量単位でセクターがあります。現在のHDD、SSD、SDカードは1セクタは512byteです。

ちょっと余談になりますが…

昔のフロッピーディスクは、フォーマットにより1セクタの単位が256、512、1024byteと変化してました。

で、元々はセクターというのは回転する記録デバイスを効率よくアクセスするために用意された記録単位という事です。現在は回転しないソリッドステートデバイスであっても大容量のデバイスをアクセスする場合、ある程度まとめた容量でアクセスする方が効率がいいので、セクタ単位でアクセスしていると思われます。

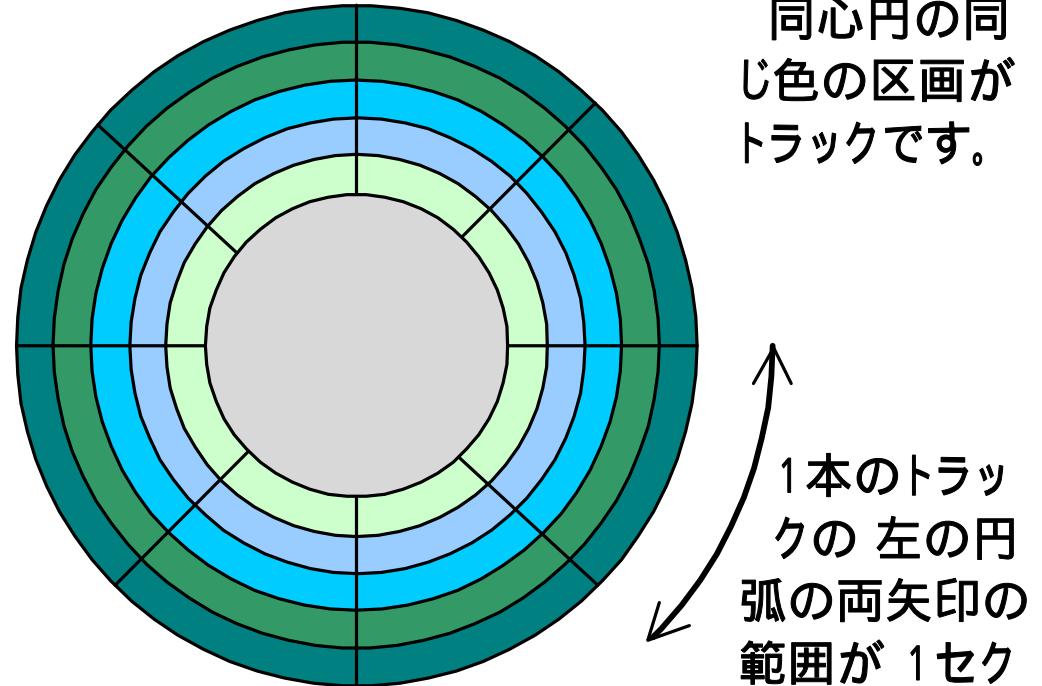
昔のHDDやフロッピーは、セクタ以外にもトラックやシリンダーという概念が、ありました。

このトラックやシリンダーという概念はもう回転する記録デバイスで使用する概念なので、現在では使われなくなりました。

昔のフロッピーディスクの場合、陸上競技のトラックと同様に 内側から外側に 分かれた同心円上の 区画がトラックで、そのトラックを おうぎ状に 均等分割した区画が セクタでした。

それと、フロッピーは 円盤状の磁性フィルムの 両面に データを記録、再生していたので、同じトラックの 表と裏が シリンダーになるのかな。？

フロッピーは 表と 裏しかありませんが、遙か昔のメインフレームの時代は ディスクパックといって、ディスクパックの中に 磁性コートした円盤が 10枚ぐらい入ってましたから、同じトラックで 10枚 両面使うと 箔状に 20トラックある事になりますよね。 それが シリンダーの概念です。



同心円の同じ色の区画がトラックです。

1本のトラックの 左の円弧の両矢印の範囲が 1セクタとなります。

そして、ディスクの円盤を積み重ねて 異なる磁性円盤の同じトラック番号を 積み重ねたイメージが シリンダーとなります。
分かりにくい説明ですみません。

シリンダーは、ヘッドシークしなくても、この場合だと 20トラック連続して 高速に読み書き出来る。 という事になります。 ディスクの構造を意識しなければならないので、トラックや シリンダーの概念は 衰退したと思われます。

代わりに、セクタ番号は、トラックや シリンダーの概念が 無くなった事もあり、セクター番号の 数値が やたら大きくなつた。 という事もあります。 よって 昔のセクタ番号と 区別するため ディスクの物理的な構造を意識しない論理セクタ番号と 呼ぶ事があります。
余談でした。

で、本題に戻りますが、MBRでは 最大4つのパーティションテーブルが用意されています。

各パーティションの 先頭セクタ番号、パーティションサイズは セクタ数単位です。 ブートフラグや、FATとか NTFSとか EXT3とか パーティション フォーマットの識別子を 持っています。

ここで パーティションて、何？と聞かれるとその後の話が 困るので 一応やさしく説明しておきます。 ハードディスクは 見た目は大して大きくないですが、最近の HDDは 一昔前では 考えも付かなかつた莫大な データ容量を持っています。 HDD全体を Windowsのシステムで一括使用してもいいですが、HDD全体の記憶領域をセクタ番号で 明確、固定的に仕切つた概念がパーティションです。 プライマリパーティションが 4つまで 作成できます。 パーティションの種類としては プライマリ以外に 拡張パーティション、拡張パーティション内に 作成する論理ドライブが あります。

今までの説明で 難しそう。 と思った方が 多分おられるでしょう。 各種類のパーティションの 説明を行います。

プライマリパーティション：

唯一、OSを 起動出来るパーティション。 このプライマリパーティションは 最大4つまで入れる事が 出来る。 よって何らかの OSセレクタのような、ソフトを使えば 最大4つまで、OSを切り替えて起動出来る事になる。 MBRから見れば 一番シンプルなパーティションになる。

今回のように Windowsと Linuxを 切り替えて起動したいという場合に 使用します。

拡張パーティション：

拡張パーティションは、OSを起動する事は できませんし拡張パーティション単体では データディスクとしても使えません。

じゃ、**拡張パーティション**は、何に使うんだ。 という事になりますが、次に話す**論理ドライブ**と 組み合わせて使用します。 **論理ドライブ**を作成するための土台になります。

論理ドライブ：

論理ドライブは、**拡張パーティション**の 土台の上で C: D: E: 等の ドライブ番号の制限は ありますが その範囲内で 論理ドライブを 複数作成することが出来ます。

但し、OSを 起動させる事は出来ません。 データディスクを 複数作成して データを分類して保存する用途には 使えるでしょう。 当然 複数OSを 切り替えて起動する用途では 使えません。

プライマリ パーティション OS有り	拡張パーティション			
	論理 ドライブ1	論理 ドライブ2	論理 ドライブ3	論理 ドライブ4

ubuntu導入のための 空きエリアの確保

パーティションの操作を行う場合、専用のユーティリティもありますが 中古PCに Linuxをインストールする場合は 新品のHDDの場合が一番簡単です。

昔の WindowsXPとか 入っているPCに Linuxを追加インストールする場合は、HDDの後方に新たなパーティションを作る 空きエリアが 有れば可能です。 空きエリアが無い場合は Windowsを 消して良いのであれば Linuxインストーラにより HDD全体を 初期化する事は可能です。 古いWindowsを 残して Linuxをインストールしたいという場合は 今、古いPCに入っているHDDより 大きい容量の HDDを用意して 最初に 古いPCの HDDから 古いWindowsのパーティションバックアップを 取って新しいHDDに 復元するというやり方と、新たに

HDDを買うのは 同じですが、HDDクローンという外付け機器があり HDDを挿入するスロットが 2つあります。スロット1が送り元で、スロット2が送り先です。 そのような 外付け機器を使っても HDDのコピーは 出来ます。

私の場合は、HDDが大容量 1テラバイトに交換されていて先頭パーティションに WindowsXPが 入ってました。HDD後方に 大きな 空きエリアがあるので 問題ありません。



それと、一つやってみないと分からるのは昔は Linuxは Linuxのシステムパーティションとは別に スワップ領域のパーティションが必要でした。スワップ領域のサイズは さほど大きい必要はありません。仮に PCの実装メモリ量の 4倍ぐらいにしておきましょうか。

2GByteのメモリ容量であれば 8GByteのスワップ領域を確保という事になります。

ところが、最近の ubuntu等の Linuxは スワップ領域の指定を行った記憶が 無いので、もしかしたら、システム領域の一部に スワッペリアが 自動的に確保されるのかもしれません。まあ、やってみれば分かりますね。

それが可能であれば、[WinXP](#)と [ubuntu](#) と [Lubuntu](#) の 3つの OSの起動を 選択可能になります。

今回は 説明していませんでしたが、MBRと同様な目的で GPTというのが あります。

ChatGPTでは 無いですよ。HDD先頭に置かれる Diskの 管理情報です。私も この原稿を作っている最中に GPTがある事を知りました。

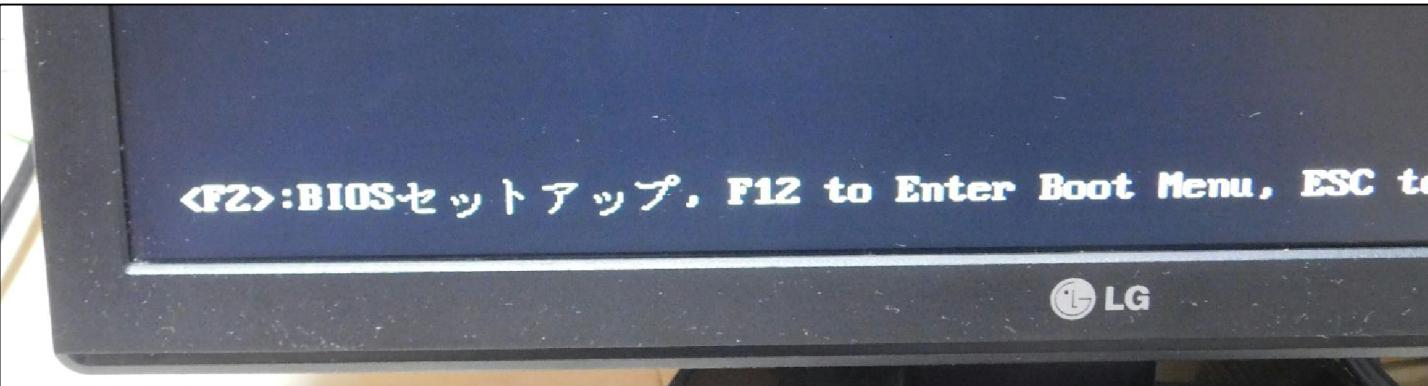
Windows Vista 以降で 対応しているとの事ですが、それを採用しているパソコンには まだ御対面した事が 無いです。Vine Linuxのページで Linuxでも GPTに対応しているとの記事を チラッと見ました。私が GPTに関して勉強不足なので、またこのような Diskのパーティションを 扱う機会があれば、勉強しておきます。

Linuxインストール前の PC BIOSの設定

長く使用して無い中古PCの場合、時刻がかなりずれている可能性があります。あるいは完全に パソコン上の **RTC**(時計)が リセットされている場合が あります。よって **BIOS**で正しい時刻を **設定**します。 それと、DVD-Rに書き込んだ **ubuntu**の インストールディスクを使用するので DVDドライブが HDDよりも 先に ブートする設定になつていないと DVDドライブを 読み込む前に **Windows**が 起動してしまいます。よって **BIOS**の「起動デバイスの優先順位」を **CD/DVD** に します。

各PCの **BIOS**により、文言の表示が 多少異なる場合は あります。

私の PCを例に 実際の **BIOS**設定画面を次ページから お見せします。



PCの 電源ON直後の画面で 画面下に 上記のような文字列が
1~2秒 出てくると思います。 上記の場合は
<F2>: BIOSセットアップとなっていますので、すぐに F2キーを 押し
ます。 通常 F2キーか DELキーの場合が 多いです。

システム時刻
システム日付
言語 (Language)

[14:44:53]
[11/29/2025]
[日本語(JP)]

SATA ポート 0
最大容量
SATA ポート 1
最大容量
PATA ポート 0

ST1000DM010-2EP102
1000 GB
MATSHITA DVD-RAM SW-9

システム時刻、日付を 設定します。
設定方法は 下部の表示を 参照します。

項目ヘルプ

項目ヘルプ ▶

現在の時刻を時:分:秒
設定します (24時間制)<Tab>キー<Enter>キー
で右の項目に移動しま

F1 ヘルプ
Esc 終了

↑↓
↔

項目の選択
メニューの選択

-/+/
PU/PD
Enter

値の変更
選択>サブメニュー

F7 標準設定
F10 保存して終

- ▶ 起動デバイスの優先順位
- ▶ ハードディスク起動順位
- シングルコアモード
- 起動メニュー
- プライマリディスプレイ
- 起動時のNumLock設定
- キーボードエラー検出
- ネットワークからの起動
- USBコントローラー
- USBレガシーサポート
- パラレルATAポート
- ME BIOS設定
- ▶ シリアル/パラレルポート設定
- ▶ イベントログ設定

- 【使用しない】
- 【使用する】
- 【PCI】
- 【オン】
- 【使用する】
- 【PXE】
- 【使用する】
- 【使用する】
- 【使用する】
- 【使用する】
- 【使用する】
- 【使用する】

起動デバイスの優先順位を クリックします。

詳細

起動デバイスの優先順位

起動デバイスの優先順位1

[CD/DVD]

起動デバイスの優先順位2

[USB-CDROM]

起動デバイスの優先順位3

[Hard Disk]

起動デバイスの優先順位1にて
[CD/DVD]を 選択します。

起動デバイスの優先順位

デバイスの優先順位1

[CD/DVD]

デバイスの優先順位2

[USB-CDROM]

デバイスの優先順位3

[Hard Disk]

項目ヘルプ

項目ヘルプ ▶

<↑/↓>

起動デバイスの選択

<Enter>

起動デバイスのリストを

動デバイス
ださい。

変更した内容を保存して終了しますか？(再起動)(Y/N) Y

F10キーを押すと 上の黒い確認画面が出てきますので

Y [Enter]キーを 押します。

PCが 再起動します。 BIOSの設定は 以上です。

ヘルプ

終了

↑↓

↔

項目の選択
メニューの選択

-/+ / PU/PD

Enter

値の変更

選択>サブメニュー

F7 標準設定

F10

保存して終了

ubuntu isoファイルのダウンロード

ubuntuのサイトから ubuntuインストーラの isoファイル(DVDメディアに書き込むファイル)を ダウンロードします。 Lubuntuの isoファイルも ダウンロードしますが ubuntuの後に 説明します。 まずブラウザの検索欄に私は [ubuntu ダウンロード iso](#) で 検索しました。 これから先は PC画面の 画像ファイルを見ながら説明します。

Google search results for "ubuntu ダウンロード iso". The search bar shows the query. Below it, a link to "ubuntu ダウンロード iso - Google 検索" is visible.

Ubuntu Japanese Team
<https://www.ubuntulinux.jp> › download ›

Ubuntuの入手 ✓

... Ubuntu 日本語 Remix イメージは、以下よりダウンロードできます。 日本語
ンロード、上記の各リンク先より入手した拡張子が「iso」のファイル...

[Ubuntu Desktop 日本語 Remix](#)

[日本国内のダウンロードサイト](#)

検索で出て来た候補の中から 一番上を
クリックしました。以下の画面が表示されます。



Ubuntuの入手

ダウンロード

[jp.ubuntu.comのダウンロードページ](#)より、用途別のインストールイメージを入手できます。

[jp.ubuntu.comのダウンロードページへ](#)

Japanese Teamが作成しているUbuntu 日本語 Remix イメージは、以下よりダウンロードできます。

[日本語 Remix イメージのダウンロード](#)

← **ここを クリックしました**

上記の各リンク先より入手した拡張子が「iso」のファイルをDVD-Rに書き込む方法については、以下のページを参照してください。

[UbuntuTips/Install/BurningISO](#) ›

日本国内にあるインストール用イメージやパッケージの配布サーバについては、以下のページを参照してください。

[日本国内のダウンロードサイト](#) ›

Ubuntu Desktop 日本語 Remixのダウンロード

Ubuntu 22.04 LTS - 2027年4月までサポート

以下の各ミラーサイトからダウンロードしてください。ファイル名は「ubuntu-ja-22.04-desktop-amd64.iso」です。

- 富山大学
- 北陸先端科学技術大学院大学
- KDDI 研究所
- 株式会社アプセル

ここを クリックしました

オリジナル版からの変更点

- 日本語サポートパッケージの収録 日本語をサポートするためのパッケージをすべて含んでいます。これにより、ライブセッションで利用する場合でも各メッセージが日本語化されます。また、日本語の入力も可能です。
- unzip**の日本語のファイル名対応 **unzip**で展開するファイルに日本語（シフトJIS）を含むファイル名がついていた場合に、文字化けしない対策を追加しています。
- Japanese Teamリポジトリの追加** **Japanese Team**のパッケージリポジトリを追加しています。
- その他のバグ対応 **Japanese Team**で発見したバグの対応を、先行して収録することができます。
- その他の問題対応 Ubuntuを日本語で利用するにあたって問題となる部分の修正を含むことがあります。

ソースコード

イメージに含まれるソフトウェアのソースコードは、Ubuntuのパッケージ配布リバーバンおよびUbuntu Japanese TeamのPPAで配布しています。

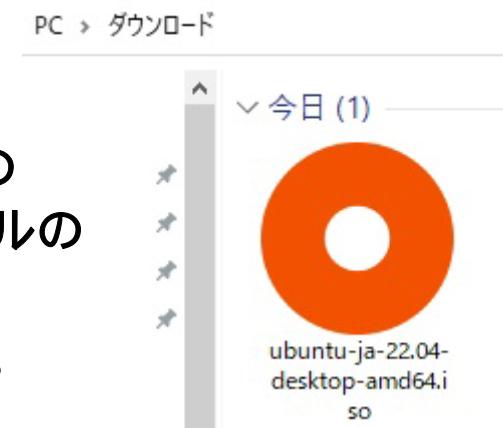
Index of /releases/jammy

<u>Name</u>	<u>Last modified</u>	<u>Size</u>	<u>Description</u>
Parent Directory		-	
SHA256SUMS	2022-05-06 12:08	208	
ubuntu-jammy-22.04-desktop-amd64.iso	2022-05-02 12:06	3.2G	
ubuntu-jammy-22.04-desktop-amd64.iso.torrent	2022-05-06 12:07	256K	

ubuntuの 安定した最新版は 2022年 5月 2日 なんですね。
ダウンロードが始まると以下のような 経過表示が出てきます。



ダウンロードが 終了すると、ダウンロードの
フォルダに 右のようなアイコンで isoファイルの
表示が 行われます。 ファイル名は
[ubuntu-jammy-22.04-desktop-amd64.iso](#) です。

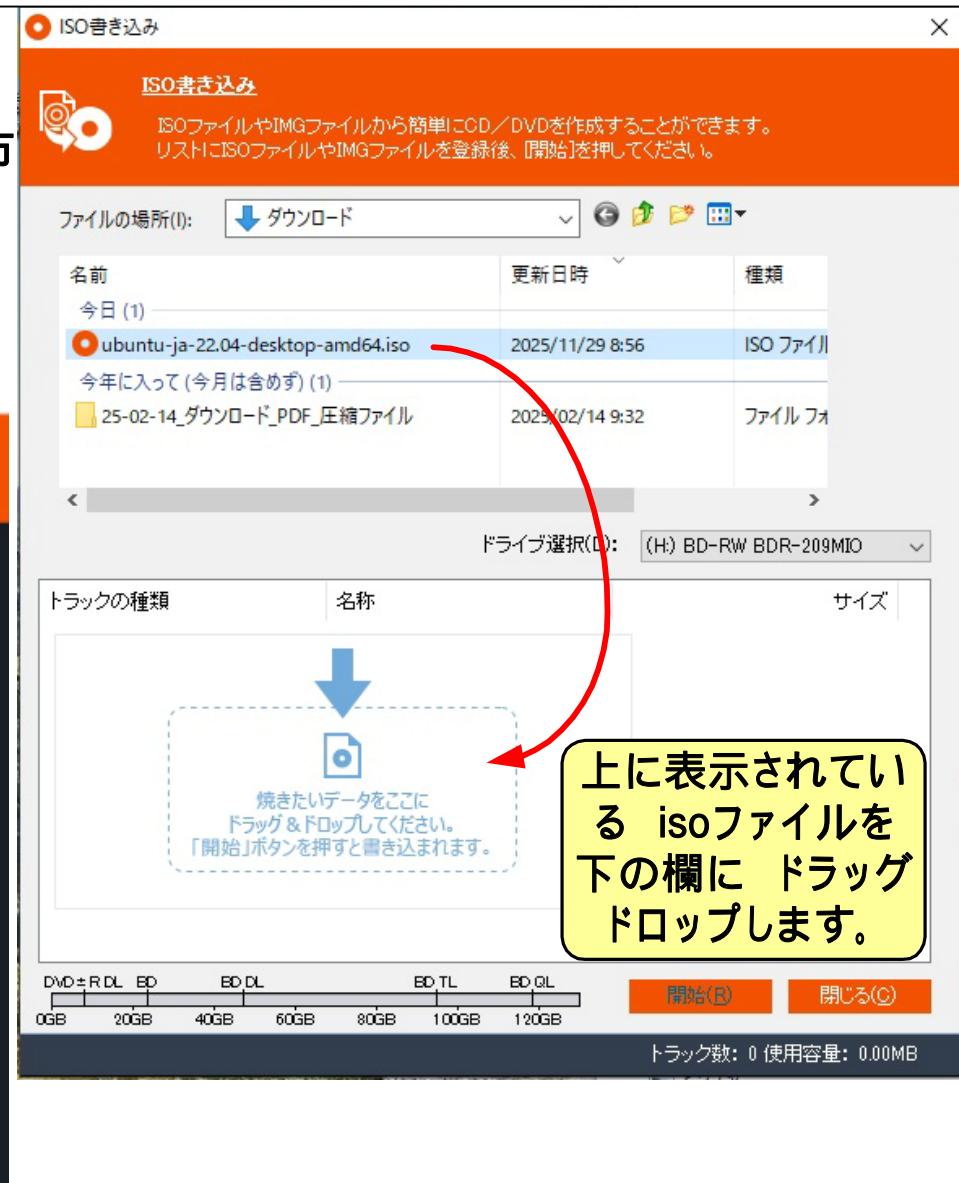


この isoファイルを DVD書き
込みソフトで DVDに書き込み
ます。

DVD-R に isoファイルの 書き込み

次は ダウンロードした isoファイルを DVD-Rに 市販の ライティングソフトを使用して書き込みます。

私は B's を使用しました。下の表示で 赤になって いる ISO書き込み を クリックします。





左の画面で [開始(R)] を クリックします。
次に 以下の確認画面が 表示されます。
ベリファイや コンペアは 必要であれば 設定して下さい。 そして [開始(S)]を クリックします。 書き込みが 始まります。



Lubuntu isoファイルの ダウンロード

ubuntuのサイトは 見つかりやすいのですが
Lubuntuのサイトは やや見つかりにくいです。
まずブラウザの検索欄に
[Lubuntu ダウンロード iso](#) で 検索しました。

が、ubuntuのサイトの候補が多数出てきて
Lubuntuのサイトが なかなか出てきません。
見つからない場合は、以下の URLを 打ち込んで下さい。

<https://lubuntu.me/downloads/>

出てくるサイトの画面は 大きいので
次の画面に表示します。



Check out the Lubuntu Manual for an installation guide and much more!

24.04.3 LTS (Noble Numbat)

Latest LTS release

Supported until April 2027

Please read [the release announcement](#).

LXQt Version: 1.4.0

It's better to use the [\(magnet\)](#) link first (auto-verified downloads).

⚠ Note: make sure to verify the integrity ([SHA256SUMS](#)) of your downloads and that they come from an official source. More info [here](#).

ここを クリックしました

→ [Desktop 64-bit](#)

25.10 (Questing Quokka)

Latest stable release

Supported until July 2026

Please read [the release announcement](#).

LXQt Version: 2.2.0

It's better to use the [\(magnet\)](#) link first (auto-verified downloads).

⚠ Note: make sure to verify the integrity ([SHA256SUMS](#)) of your downloads and that they come from an official source. More info [here](#).

[Desktop 64-bit](#)

下の ここをクリックしました。を行うと ダウンロードが 始まります。
ダウンロードが 終わると ダウンロードのフォルダに isoファイルが出来ています。
ファイル名は [lubuntu-24.04.3-desktop-amd64.iso](#) です。



Lubuntu 24.04.3 (Noble Numbat)

Desktop image

The desktop image allows you to try Lubuntu without changing your computer at all, and at your option to install it permanently later. This type of image is what most people will want to use. You will need at least 1024MiB of RAM to install from this image.

64-bit PC (AMD64) desktop image

Choose this if you have a computer based on the AMD64 or EM64T architecture (e.g., Athlon64, Opteron, EM64T Xeon, Core 2). Choose this if you are at all unsure.

A full list of available files, including BitTorrent files, can be found below.

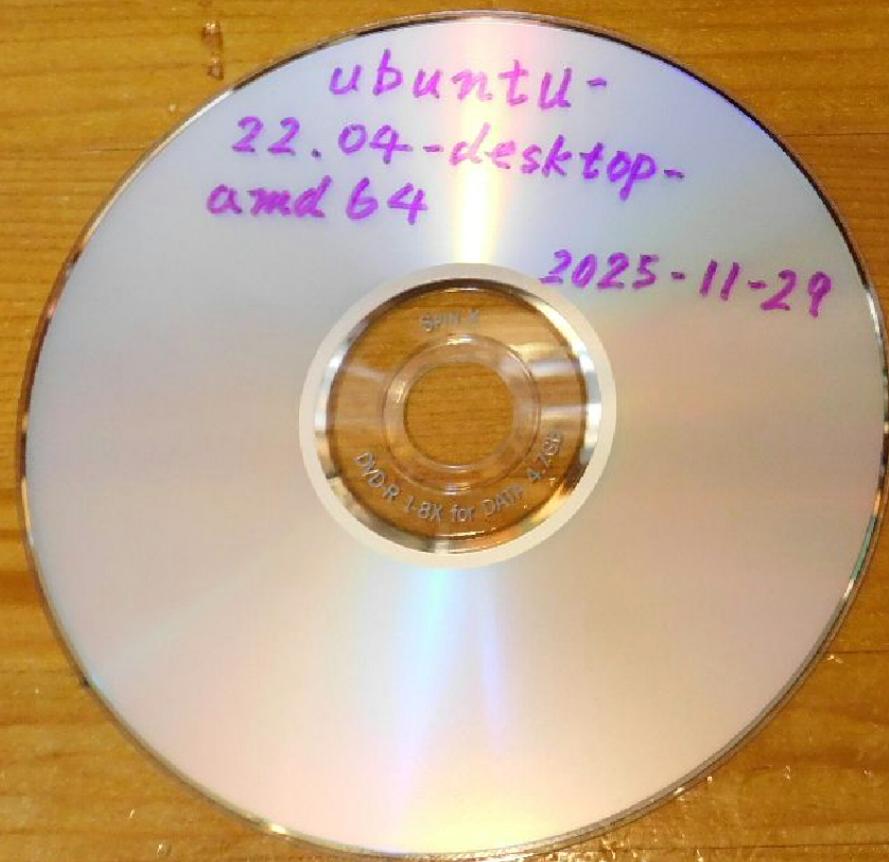
If you need help burning these images to disk, see the [Image Burning Guide](#).

Name	Last modified	Size	Description
Parent Directory		-	
SHA256SUMS	2025-08-07 10:58	100	
SHA256SUMS.gpg	2025-08-07 10:58	833	
lubuntu-24.04.3-desktop-amd64.iso	2025-08-05 18:08	3.2G	Desktop image for 64-bit PC (AMD64) computers (standard download)

ここを クリックしました



これで 64bit版の ubuntu、Lubuntu 2枚の
DVDブータブルメディアが出来ました。



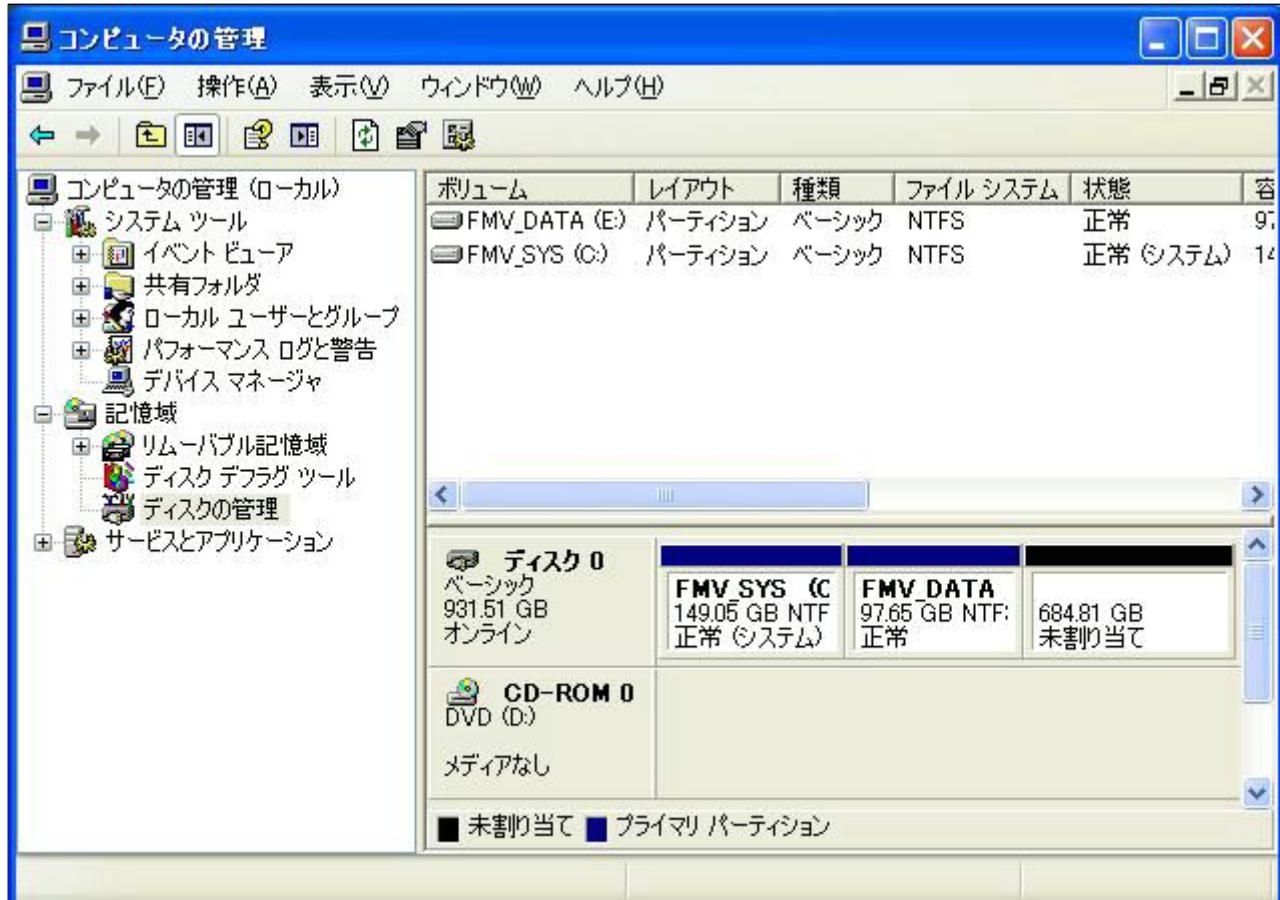
インストール用パソコンの 再確認

Windows XP上で ハード仕様を確認します。

Intel(R) Core(TM)2 Duo CPU E6850 @3.00GHz
1.97GHz、 1.96GByte RAM



実装されているグラフィックボードは
NVIDIA の GeForce 7300 LE です。
画面の解像度は 接続されているディスプレイの
解像度で 1680 × 1050 ピクセルです。



実装されているストレージデバイスは
ディスク 0 全体が **931.51GByte** です。
CD-ROM 0 が DVD (D:) メディア無しと表示されて
います。

で、この中で重要なのは、ディスク 0 の パーティションの内訳です。

先頭から FMV_SYS (C:) が **149.05 GByte** NTFS です。
WindowsXPが 入ってます。

2番目は FMV_DATA (E:) が **97.65 GByte** NTFS です。
データ格納専用です。

未割り当て(空き領域)

684.81 GByte です。

ここでは、最大2つのプライマリ
パーティションを 作成可能です。
よってここに Linuxをインストール
します。 パーティションの確保は
Linuxのインストーラ内にて 行い
ます。

えーと、予想外の事態が発生しました。

この後、Lubuntuの64bit版をインストールする予定で、インストールの動画の撮影を行ってました。インストールの中で過去のLinuxで見たことの無い選択肢がありました。

適当にパーティションのマニュアル操作が出来る選択を選びましたが、それがのちにHDDの内容を壊すことになってしまいました。要は元々WindowsXPが入っていたので今までのLinuxではGrub(LinuxのOS選択のためのプログラム)が、自動的に入って来ていたので気にしてなかったのですが、私が選択した操作はGrubが自動的に入ってこない全てマニュアルでやってくださいよ。というような高度な設定の選択子だったようです。

で、再起動したら画面表示が壊れながらLubuntuが起動してきました。

どこかLubuntuが壊れている様です。そして、WindowsXPは全く起動する選択肢が無いです。で、XPは起動出来なくなりました。

WindowsXPも失いたくないため、過去にこのPCのシステムパーティションをAcronis True Imageというパーティションバックアップ、復元ユーティリティで、外付けUSBHDDにバックアップを取っていたのでWindowsXPのパーティションを復元する事にしたのです。

CD-ROMドライブに入れるアクロニスのレスキューCDを入れてパソコンを再起動しましたがどういう訳かレスキューCDが起動しません。

BIOSの起動設定は1番がCD/DVDのままです。どうやっても、レスキューCDが起動しないので、PC内のHDDを外し別のノートPCにて、外付けUSBHDDと

HDDクローンというUSB周辺機器に Lubuntu をインストールした HDDを 挿入して、ノートPC にて レスキューCDを 起動しました。

壊れたHDDを Lubuntuを インストールする 前に復元しようという事です。 レスキューCDでの操作は 無事出来ました。

そして、HDDを 元のパソコンに戻したら 新たな障害が発生し始めました。 パソコンの電源ボタンを 押したら いきなり ピーピーピーピーと音が 鳴り続け 画面には 何も出ません。

何か、パソコンに ハード的な障害が 発生したと思われます。 ネットで調べると パソコンのビープ音は パソコンの不調を 意味する物で 音のなり方で 症状が分かる。 との事で 富士通のFMVパソコンの ビープ音の鳴り方を見ると ピーピー音が 連続的に長く鳴り続ける場合、

ピーピー音が 連続的に長く鳴り続ける場合、グラフィックカードに電源が供給されて無い。 との事でした。 グラフィックカードに 接続される専用電源ケーブルは 無いようです。 そのようなケーブルを接続するコネクタも無いです。 一応 グラフィックカードの抜き差しを行いましたが、状況は変わりません。 どうしようもない状況になってしましました。 どこかハード的に壊れているのは、確かでしょう。

実は、この中古のF社デスクトップPCは、購入直後に 一度 近くに雷が落ちた時 動かなくなったり事があるのです。 その時、別の機材として テクトロのオシロスコープも正常に動かなくなりました。 テクトロのオシロは 元に戻りませんでしたが、F社デスクトップPCは、分解してゴソゴソやっているうちに動き出したのです。 で、長い事 動いていたので 忘れていきました。

どこか壊れかかっていて、何かのショック、例えば冬場なので 静電気のショックで 止めを刺したのかもしれません。

静電気なんて大した事無いと思っている方もおられるかもしれません、冬場 車のドアや事務所のドアノブなどに触った時、パチッと静電気のショックを 経験した事があると思います。

極一瞬ですが 電圧は 5KVぐらいあります。半導体に直接流れると壊れても当たり前な電圧です。 今回は 不覚にも静電気を逃がすリストバンドは 付けていませんでした。
ちょっと余談でした。

という事で、中古のF社デスクトップPCは、諦めて 別のデスクトップPCを 用意する事にします。

今回の撮影した動画は、設定を失敗した パーティション設定の画面のところだけ 次ページで静止画で お見せします。

それと、たまたま あるサイトを見つけました。それは [Lubuntuの 32bit の ダウンロードサイト](#)です。

但し、64bit版の 安定バージョンが 24.04 であるのに対し、32bit版は 18.04のバージョンが最終バージョンのようです。

検索では 出てこないので 以下の URLを打ち込んで下さい。

<https://cdimage.ubuntu.com/lubuntu/releases/18.04/release/>

表示されるサイトの 少し下の方にあります。

[lubuntu-18.04-alternate-i386.iso](#)

2018-04-26 18:21 715MB

